

平成 29 年名古屋市外国人住民統計【概要版】

平成 29 年 12 月末の名古屋市内に住民登録をしている外国人住民数は、78,435 人で過去最多。前年末に比べ、5,752 人（7.9%）増加。

1 外国人住民数（第 1 表、第 1 表の 2、第 1 表の 3）

- ・平成 29 年末現在における名古屋市の外国人住民数は過去最多の 78,435 人で前年末に比べ、5,752 人（7.9%）増加しました。市内人口に占める外国人住民の割合は 3.4%でした（前年末に比べ 0.25 ポイント増加）。
- ・男女別では、女性が 40,849 人（構成比 52.1%）、男性が 37,586 人（同 47.9%）となり、それぞれ増加しました。
- ・年齢別では、20 歳代が 22,108 人（構成比 28.2%）と最も多く、次いで 30 歳代 16,739 人（同 21.3%）となっています。全ての年代が前年末より増加しており、特に 20 歳代は前年末に比べ、2,741 人（14.2%）増加しました。

2 在留カード等上の国籍・地域別（第 1 表、第 1 図）

- ・在留カードおよび特別永住者証明書（以下「在留カード等」という。）上に表記された国籍・地域の数 は 147（無国籍を除く。）でした。
- ・国籍・地域別では、中国が 22,791 人と最も多く、以下韓国 15,752 人、フィリピン 9,125 人、ベトナム 7,282 人、ネパール 4,933 人と続いています。
- ・増加が顕著な国籍・地域としては、ベトナムが 7,282 人（対前年末比 1,732 人（31.2%）増）、ネパールが 4,933 人（対前年末比 1,543 人（45.5%）増）となっています。全体の増加数に対し、ベトナムとネパールの住民増加数が占める割合は 56.9%でした。

3 在留資格等別（第 2 表、第 2 表の 2、第 2 図）

- ・外国人住民の在留資格等別では、「永住者」が 23,286 人（対前年末比 712 人（3.2%）増）と最も多く、次いで、「特別永住者」の地位をもって在留する者が 13,186 人（対前年末比 423 人（3.1%）減）、「留学」が 11,980 人（対前年末比 2,197 人（22.5%）増）と続いています。
- ・前年末からの増加数は、「留学」が 2,197 人（22.5%）増と最も多くなっています。
- ・「留学」を国籍・地域別でみると、ベトナムが 3,381 人と最も多く、次いで中国 3,034 人、ネパール 2,978 人と続いています。上位 3 国が「留学」に占める割合は 78.4%でした。
- ・「留学」における国籍別増加数は、ネパールが対前年末比 1,200 人（67.5%）増と最も多く、次いでベトナムが対前年末比 710 人（26.6%）増と続いています。

4 居住区別（第 3 表、第 3 図）

- ・外国人住民が最も多いのは中区で 8,999 人となっており、以下港区 8,255 人、千種区 6,308 人、中川区 6,209 人、中村区 6,011 人と続いています。
- ・全ての区で外国人住民数が増加しました。前年末からの増加数は、千種区が 840 人（15.4%）増と最も多く、以下中区 728 人（8.8%）増、中村区 558 人（10.2%）増と続いています。

5 【トピック】名古屋市におけるベトナム人住民およびネパール人住民

外国人住民の増加数全体に占めるベトナムとネパール両国籍の住民増加数は 56.9%を占めました。増加が顕著な両国籍について取り上げます。

(1) ベトナム人住民（第4表、第4表の2、第4表の3、第4表の4、第4図）

- ・ベトナム人住民の在留資格等別では、「留学」が 3,381 人（対前年末比 710 人（26.6%）増）と最も多く、ベトナム人住民全体の 46.4%を占めています。次いで、「技能実習」（※1号ロ、2号ロの合計）が 1,980 人（対前年末比 321 人（19.3%）増）、「技術・人文知識・国際業務」が 613 人（対前年末比 235 人（62.2%）増）と続いています。
- ・男女別では、男性が 4,422 人（構成比 60.7%）、女性が 2,860 人（同 39.3%）でした。
- ・年齢別では、20歳代が 5,471 人と最も多く、ベトナム人住民全体の 75.1%を占めています。
- ・居住区別では、中村区が 1,181 人（対前年末比 273 人（30.1%）増）と最も多く、次いで、千種区 915 人（対前年末比 296 人（47.8%）増）、中区 691 人（対前年末比 252 人（57.4%）増）、南区 576 人（対前年末比 127 人（28.3%）増）、港区 571 人（対前年末比 126 人（28.3%）増）と続いています。

(2) ネパール人住民（第5表、第5表の2、第5表の3、第5表の4、第5図）

- ・ネパール人住民の在留資格等別では、「留学」が 2,978 人（対前年末比 1,200 人（67.5%）増）と最も多く、ネパール人住民全体の 60.4%を占めています。次いで、「家族滞在」が 864 人（対前年末比 230 人（36.2%）増）、「技能」が 407 人（対前年末比 22 人（5.7%）増）と続いています。
- ・男女別では、男性が 3,124 人（構成比 63.3%）、女性が 1,809 人（同 36.7%）でした。
- ・年齢別では、20歳代が 3,076 人と最も多く、ネパール人住民全体の 62.4%を占めています。
- ・居住区別では、中村区が 1,038 人（対前年末比 244 人（30.7%）増）と最も多く、次いで、中区 800 人（対前年末比 333 人（71.3%）増）、西区 527 人（対前年末比 238 人（82.4%）増）、千種区 457 人（対前年末比 153 人（50.3%）増）、北区 396 人（対前年末比 98 人（32.9%）増）と続いています。

名古屋市外国人住民統計の詳細は、名古屋市公式ウェブサイトで公開しています。

統計データを Excel 形式でダウンロードできます。

<http://www.city.nagoya.jp/kankobunkakoryu/page/0000080856.html>

【第1表】国籍・地域別外国人住民数の推移（上位10位）

国籍・地域	平成26年末	平成27年末	平成28年末	平成29年末	前年差	対前年末増減率(%)
計	65,449	67,693	72,683	78,435	5,752	7.9
中国	21,469	21,293	22,056	22,791	735	3.3
韓国	16,660	16,316	16,016	15,752	▲264	▲1.6
フィリピン	7,502	7,905	8,441	9,125	684	8.1
ベトナム	2,645	3,951	5,550	7,282	1,732	31.2
ネパール	1,756	2,228	3,390	4,933	1,543	45.5
ブラジル	3,662	3,609	3,787	4,080	293	7.7
米国	1,494	1,497	1,674	1,731	57	3.4
朝鮮	1,280	1,224	1,176	1,095	▲81	▲6.9
台湾	830	971	1,030	1,092	62	6.0
インドネシア	539	693	820	1,005	185	22.6
その他	7,612	8,006	8,743	9,549	806	9.2

○国籍・地域：在留カード又は特別永住者証明書（以下「在留カード等」という。）の国籍・地域欄の表記（注1及び注2）である。

（注1）「韓国」、「朝鮮」：朝鮮半島出身者及びその子孫等で、韓国籍を始めいずれかの国籍があることが確認されていない者は、在留カード等の「国籍・地域」欄に「朝鮮」の表記がなされており、「朝鮮」は国籍を表示するものとして用いているものではない。在留カード等の「国籍・地域」欄に「韓国」の表記がなされている者を「韓国」に、「朝鮮」の表記がなされている者を「朝鮮」に計上している。

（注2）「台湾」：台湾の権限ある機関が発行した旅券等を所持する者は、平成24年7月8日までは外国人登録証明書の「国籍等」欄に「中国」の表記がなされていたが、同年7月9日以降は、在留カード等の「国籍・地域」欄に「台湾」の表記がなされており、「台湾」の表記がなされた在留カード等の交付を受けた者を「台湾」に計上している。

【第1表の2】外国人住民の男女比（平成29年末）

男性	37,586	47.9%
女性	40,849	52.1%
総数	78,435	100.0%

【第1表の3】年齢別外国人住民数（平成29年末）

単位：人

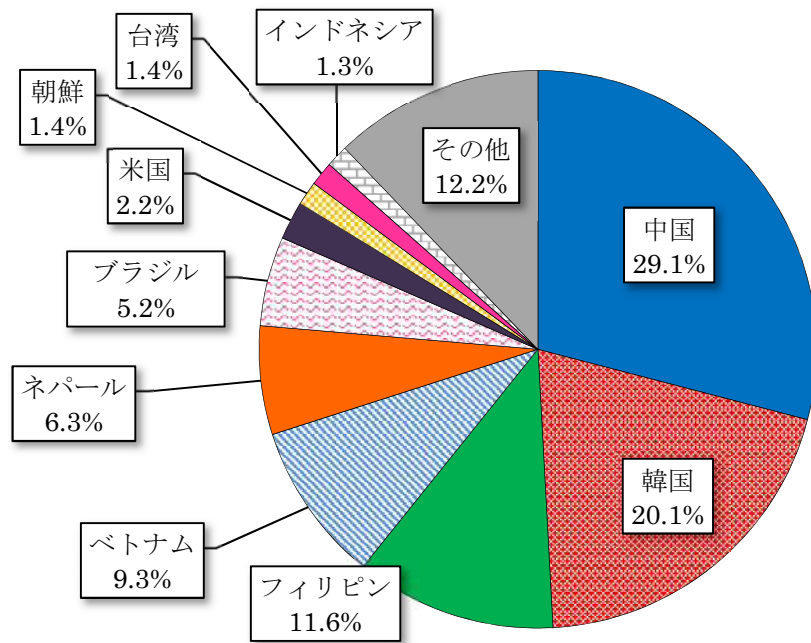
9歳以下	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	計
5,686	5,042	22,108	16,739	12,138	8,241	4,453	2,685	1,343	78,435
7.2%	6.4%	28.2%	21.3%	15.5%	10.5%	5.7%	3.4%	1.7%	100%

（参考）年齢別外国人住民数（平成28年末）

単位：人

9歳以下	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	計
5,279	4,693	19,367	15,512	11,842	7,853	4,308	2,578	1,251	72,683
7.3%	6.5%	26.6%	21.3%	16.3%	10.8%	5.9%	3.5%	1.7%	100%

【第1図】国籍・地域別外国人住民構成比（平成29年末）



【第2表】在留資格等別外国人住民数の推移

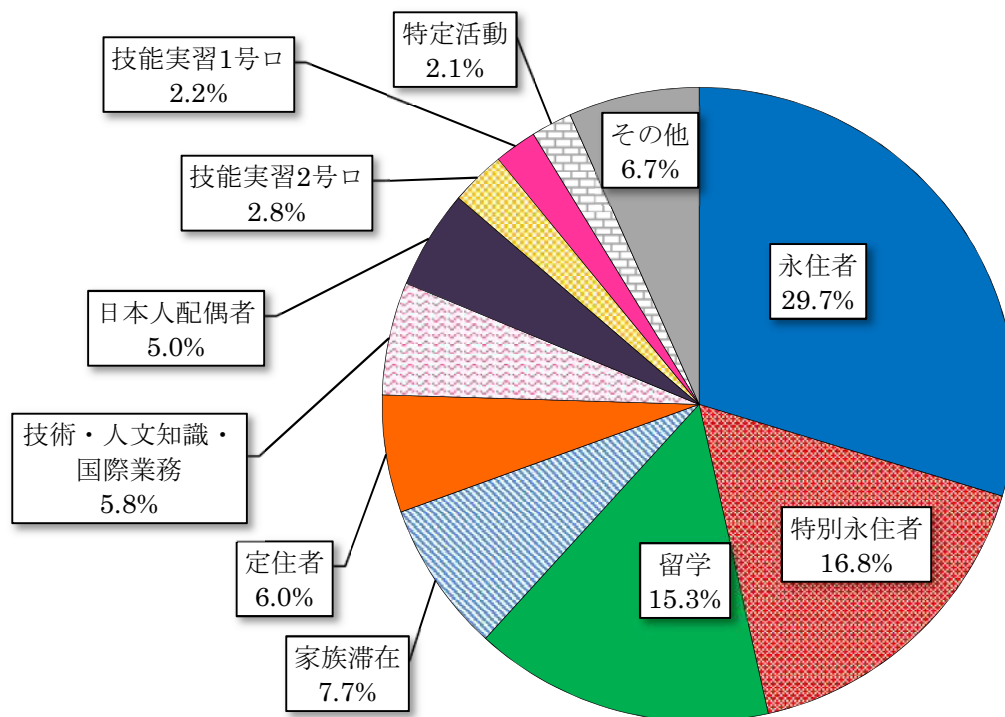
在留資格等	平成26年末	平成27年末	平成28年末	平成29年末	前年差	対前年末増減率(%)
計	65,449	67,693	72,683	78,435	5,752	7.9
永住者	20,528	21,338	22,574	23,286	712	3.2
特別永住者	14,359	13,971	13,609	13,186	▲423	▲3.1
留学	7,413	8,099	9,783	11,980	2,197	22.5
家族滞在	4,621	4,775	5,258	6,052	794	15.1
定住者	3,983	4,158	4,435	4,695	260	5.9
技術・人文知識・国際業務	-	1,530	3,277	4,521	1,244	38.0
人文知識・国際業務	2,292	1,439	697	361	▲336	▲48.2
日本人配偶者	4,016	3,911	3,896	3,956	60	1.5
技能実習2号口	1,244	1,407	1,826	2,198	372	20.4
技能実習1号口	1,061	1,364	1,578	1,691	113	7.2
特定活動	615	767	890	1,640	750	84.3
その他	5,317	4,934	4,860	4,869	9	0.2

(注1)平成27年4月1日の改正出入国管理及び難民認定法の施行に伴い、在留資格「投資・経営」は「経営・管理」へ改正され、「技術」及び「人文知識・国際業務」は「技術・人文知識・国際業務」へ一本化され、高度専門職1号イ、ロ、ハ及び高度専門職2号が新設されている。

【第2表の2】「留学」における国籍別外国人住民数の推移（上位5位）

国籍・地域	平成28年末	平成29年末	前年差	対前年末増減率(%)
計	9,783	11,980	2,197	22.5
ベトナム	2,671	3,381	710	26.6
中国	3,122	3,034	▲88	▲2.8
ネパール	1,778	2,978	1,200	67.5
スリランカ	220	351	131	59.5
韓国	334	348	14	4.2
その他	1,658	1,888	230	13.9

【第2図】在留資格等別外国人住民構成比（平成29年末）



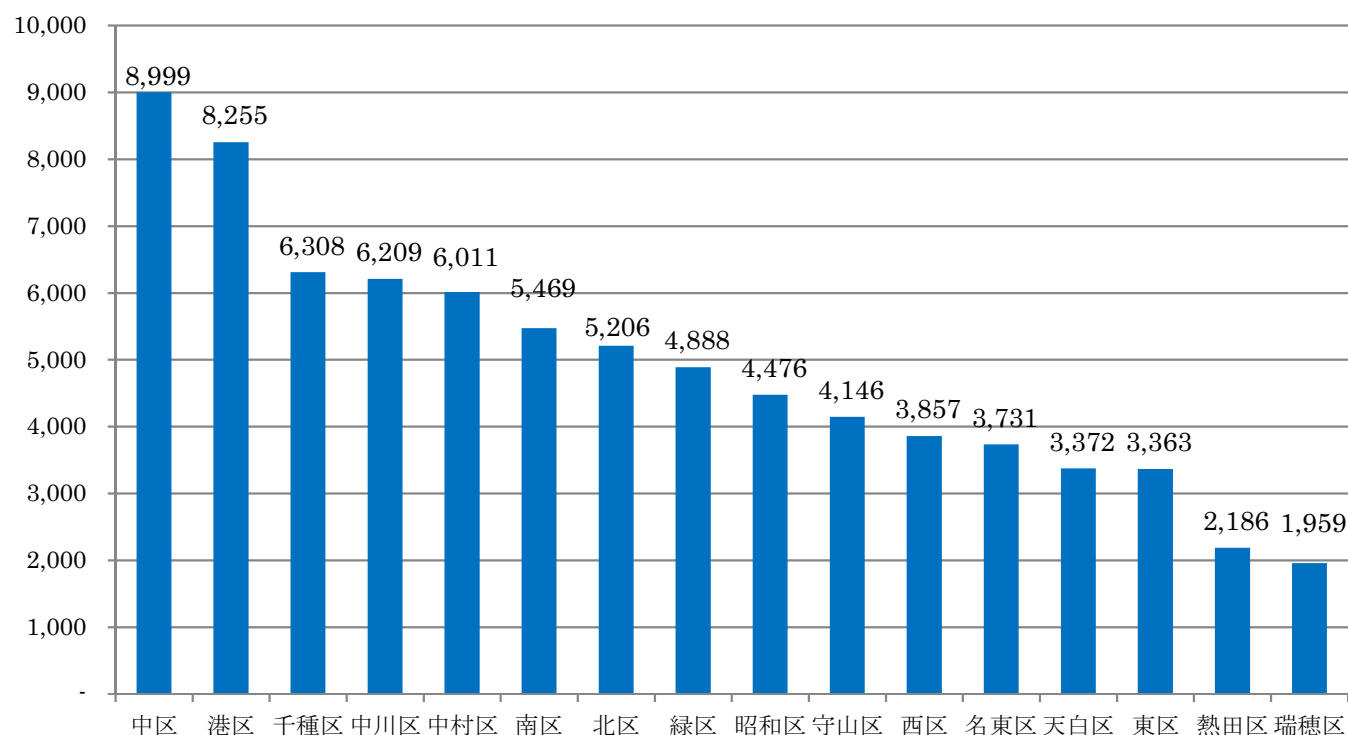
※在留資格の詳細につきましては、入国管理局のウェブサイトをご確認ください。

(<http://www.immi-moj.go.jp/tetuduki/kanri/qaq5.html>)

【第3表】居住区別外国人住民数（多い区順）

区	平成26年末	平成27年末	平成28年末	平成29年末	前年差	対前年末増減率(%)
計	65,449	67,693	72,683	78,435	5,752	7.9
中区	7,596	7,605	8,271	8,999	728	8.8
港区	6,988	7,286	7,762	8,255	493	6.4
千種区	4,895	5,032	5,468	6,308	840	15.4
中川区	5,292	5,485	5,876	6,209	333	5.7
中村区	4,390	4,727	5,453	6,011	558	10.2
南区	4,719	4,799	5,024	5,469	445	8.9
北区	4,540	4,614	4,946	5,206	260	5.3
緑区	4,175	4,415	4,636	4,888	252	5.4
昭和区	3,855	3,873	4,205	4,476	271	6.4
守山区	3,739	3,831	4,022	4,146	124	3.1
西区	2,999	3,177	3,436	3,857	421	12.3
名東区	3,175	3,323	3,449	3,731	282	8.2
天白区	2,822	2,931	3,152	3,372	220	7.0
東区	2,908	3,075	3,199	3,363	164	5.1
熱田区	1,680	1,836	1,956	2,186	230	11.8
瑞穂区	1,676	1,684	1,828	1,959	131	7.2

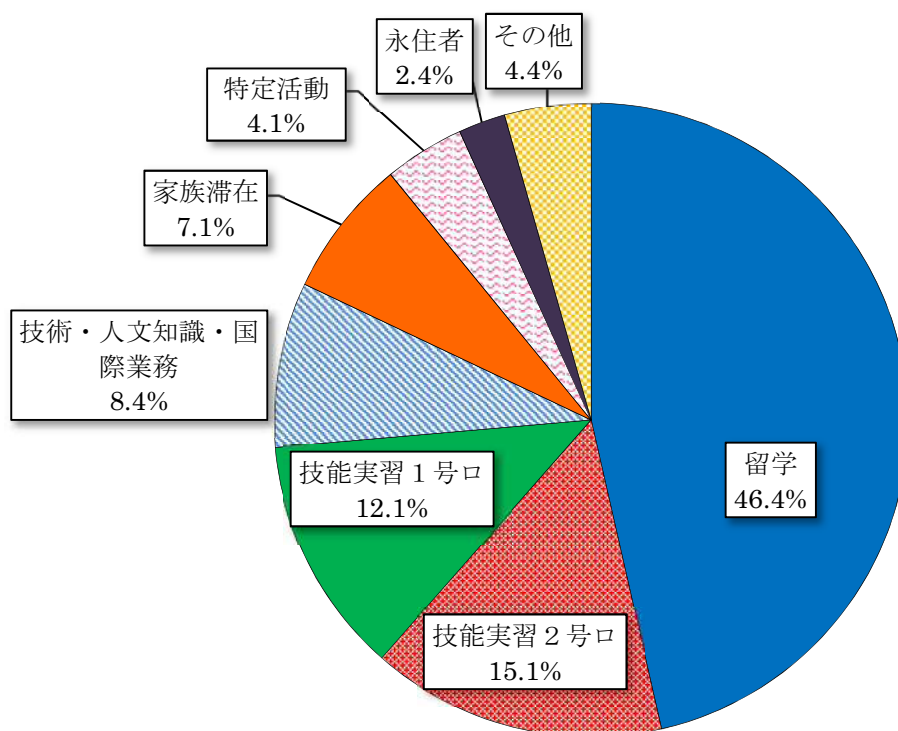
【第3図】居住区別外国人住民数（平成29年末）



【第4表】在留資格別ベトナム人住民数の推移

在留資格等	平成28年末		平成29年末		前年差	対前年末増減率(%)
	人数	構成比	人数	構成比		
計	5,550	100.0%	7,282	100.0%	1,732	31.2
留 学	2,671	48.1%	3,381	46.4%	710	26.6
技能実習2号口	851	15.3%	1,096	15.1%	245	28.8
技能実習1号口	808	14.6%	884	12.1%	76	9.4
技術・人文知識・国際業務	378	6.8%	613	8.4%	235	62.2
家族滞在	337	6.1%	514	7.1%	177	52.5
特定活動	76	1.4%	299	4.1%	223	293.4
永 住 者	148	2.7%	174	2.4%	26	17.6
そ の 他	281	5.1%	321	4.4%	40	14.2

【第4図】在留資格等別ベトナム人住民構成比（平成29年末）



【第4表の2】ベトナム人住民の男女比(平成29年末)

男性	4,422	60.7%
女性	2,860	39.3%
総数	7,282	100%

【第4表の3】年齢別ベトナム人住民数(平成29年末)

単位：人

9歳以下	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	計
269	538	5,471	897	87	11	7	2	0	7,282
3.7%	7.4%	75.1%	12.3%	1.2%	0.2%	0.1%	0.0%	0.0%	100%

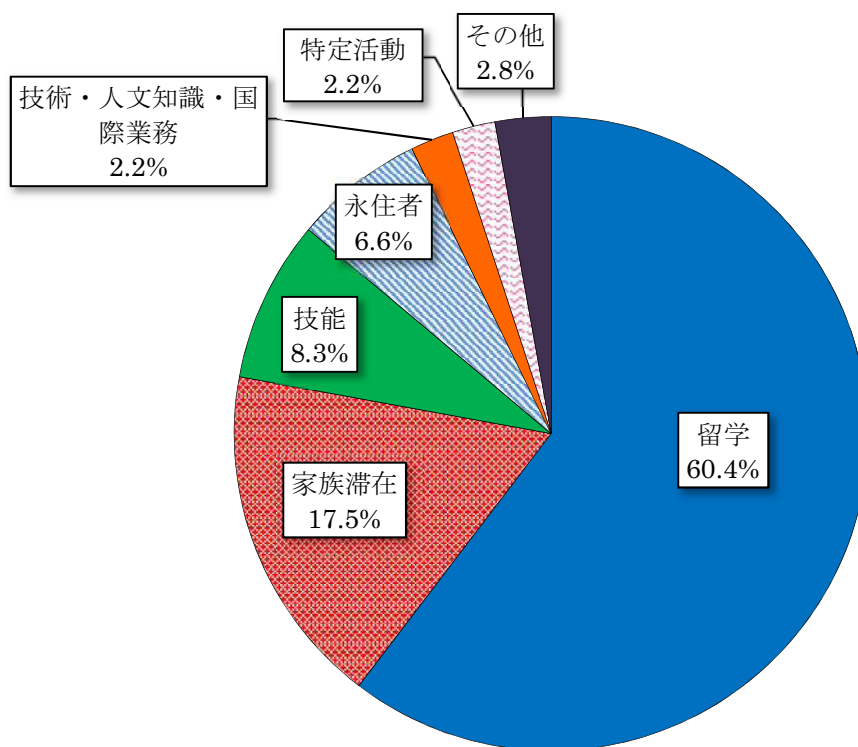
【第4表の4】居住区別ベトナム人住民数(多い区順)

区	平成28年末	平成29年末	前年差	対前年末増減率(%)
計	5,550	7,282	1,732	31.2%
中村区	908	1,181	273	30.1%
千種区	619	915	296	47.8%
中区	439	691	252	57.4%
南区	449	576	127	28.3%
港区	445	571	126	28.3%
緑区	447	570	123	27.5%
中川区	478	517	39	8.2%
昭和区	355	413	58	16.3%
西区	311	384	73	23.5%
守山区	222	269	47	21.2%
東区	207	264	57	27.5%
熱田区	180	257	77	42.8%
北区	183	245	62	33.9%
天白区	180	241	61	33.9%
名東区	54	106	52	96.3%
瑞穂区	73	82	9	12.3%

【第5表】在留資格別ネパール人住民数の推移

在留資格等	平成28年末		平成29年末		前年差	対前年末増減率(%)
	人数	構成比	人数	構成比		
計	3,390	100.0%	4,933	100.0%	1,543	45.5
留 学	1,778	52.4%	2,978	60.4%	1,200	67.5
家 族 滞 在	634	18.7%	864	17.5%	230	36.2
技 能	385	11.4%	407	8.3%	22	5.7
永 住 者	302	8.9%	327	6.6%	25	8.3
技術・人文知識・国際業務	64	1.9%	109	2.2%	45	70.3
特 定 活 動	94	2.8%	108	2.2%	14	14.9
そ の 他	133	3.9%	140	2.8%	7	5.2

【第5図】在留資格等別ネパール人住民構成比（平成29年末）



【第5表の2】ネパール人住民の男女比(平成29年末)

男性	3,124	63.3%
女性	1,809	36.7%
総数	4,933	100%

【第5表の3】年齢別ネパール人住民数(平成29年末)

単位：人

9歳以下	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	計
222	228	3,076	1062	292	47	5	1	0	4,933
4.5%	4.6%	62.4%	21.5%	5.9%	1.0%	0.1%	0.0%	0.0%	100%

【第5表の4】居住区別ネパール人住民数(多い区順)

区	平成28年末	平成29年末	前年差	対前年末増減率(%)
計	3,390	4,933	1,543	45.5%
中村区	794	1,038	244	30.7%
中区	467	800	333	71.3%
西区	289	527	238	82.4%
千種区	304	457	153	50.3%
北区	298	396	98	32.9%
中川区	192	348	156	81.3%
東区	165	253	88	53.3%
天白区	93	160	67	72.0%
昭和区	115	157	42	36.5%
守山区	166	155	▲ 11	▲ 6.6%
南区	123	152	29	23.6%
熱田区	96	145	49	51.0%
港区	96	133	37	38.5%
緑区	107	92	▲ 15	▲ 14.0%
名東区	55	77	22	40.0%
瑞穂区	30	43	13	43.3%